

＜ もくじ ＞	
1. 2020年「年頭の辞」	1
2. 第6回「あれから9年わたしたちはフクシマを忘れない」シンポジウム開催のお知らせ	2
3. 第6回研究会合同イベント「全国初の“終活互助”へのチャレンジ」のお知らせ	2
4. 各研究会の開催日程のお知らせ	2
5. 各研究会の報告概要	3
6. 後援イベント「あなたはどう生きる めざせ生涯現役」のお知らせ（再掲）	4

## 1. 2020年「年頭の辞」

明けましておめでとうございます。

昨年は、天皇の生前退位と新天皇の即位に伴うさまざまな行事が続き、そのうえ100年に一度という甚大な被害をもたらした自然災害が頻発し、本当に落ち着かない1年でした。日本国憲法の第一条に「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基づく」とあります。しかし、象徴とは何を意味するのか、その存在を国民に問われたことはあるのか、そもそも天皇制とは何なのかを考えるいとまもなく、あわただしく時が過ぎてしまいました。男子の皇位継承者が激減している今日、こういう問いかけを続けていく必要があるでしょう。



2020年は東京オリンピック・パラリンピックの年です。猛暑の夏にオリンピックを開催することの危険性については、今なお不安や疑念が消えません。おそらく選手にも観客にも、熱中症で倒れる人や救急搬送される人が続出する恐れがあります。東京オリンピックとそれに続く大阪万博で、半世紀あまり前のような経済成長を夢見ている人もいるようですが、あの時代の日本は高齢者が少なく子どもの多いピラミッド型の人口構成でした。現在のよう子どもよりも高齢者が多い提灯型の人口構成とは大違いです。生産人口も消費人口も減少してしまった今の時代に、こういうイベントをすることの愚かしさをなぜ政財界の人たちは気が付かないのでしょうか。

「復興五輪」と言いながら、フクシマのことは忘れ去られてしまいました。オリンピックのために資材が値上がりし、労働力が不足したために、被災地の復興はままならないのが現状です。3月11日には、原発事故から9年目の春を迎えます。シニア社会学会では、「あれから〇〇年わたしたちはフクシマを忘れない」をテーマにシンポジウムを続けてきました。今年も1月25日（土）14時から早稲田大学戸山キャンパス33号館6階第11会議室において「帰還しないと決断したふるさとの絆」をサブテーマにシンポジウムを開催いたします。是非、多くの方にご参加いただきたいと思います。

今年、シニア社会学会創設20周年の記念すべき年にあたります。これまでの20年間を振り返り、新たな未来に向けて踏み出したいと考えております。大会は6月14日（日）、会場はお茶の水女子大学です。できるだけ多くの方に足を運んでいただきたいと思います。

2020年元旦

一般社団法人シニア社会学会  
会長 袖井孝子

## 2. 第6回「あれから9年 わたしたちはフクシマを忘れない」シンポジウム開催のお知らせ

- (1) 日 時： 2020年1月25日(土) 14:00~17:00
- (2) 会 場： 早稲田大学戸山キャンパス 33号館低層棟6階第11会議室
- (3) テーマ： 帰還しないと決断したふるさととの絆
- (4) 共 催： 早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代社会における危機と共生社会創出に向けた研究〉部門・一般社団法人シニア社会学会「災害と地域社会」研究会
- (5) 進め方：福島原発事故被災によって「ふるさと」への帰還を断念した人びとにお集まりいただき、自分の人生選択のなかでこれから「ふるさと」とどのように関わっていくのかについて語っていただきます。被災した人びとの「ふるさと」との多様なつながり方を通して、原発事故という特殊災害における地域社会の災害復興での「ふるさと」の意味を問い直します。  
※ 詳細については、添付されるチラシをご覧ください。

## 3. 第6回研究会合同イベント「全国初の“終活互助”へのチャレンジ」のお知らせ

- (1) 日 時： 2020年3月14日(土) 13:30~16:50
- (2) 会 場： 武蔵野徳洲会病院4階講堂  
(JR中央線武蔵境駅北口、⑤番 関東バス「ヴィーガーデン西東京行き 武蔵野徳洲会病院前下車、10分)
- (3) テーマ： 全国初の“終活互助”へのチャレンジ！  
「人生100年」時代、でも施設は一杯。民間は高い。終身介護も疑問。  
あなたは どうする？
- (4) 共 催： ガバナンス研究会・地域サロンぷらっと
- (5) 参加費： 500円(資料代、学生200円)  
※ 年恒例の、研究会合同イベントです。今回はガバナンス研究会(川村匡由座長)の担当です。  
添付するチラシを参照の上、奮ってご参加ください。

## 4. 各研究会の開催日程のお知らせ

- (1) 第73回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ(再掲)
  - 1) 日 時： 2020年1月23日(木) 15:00~18:00
  - 2) 場 所： 早稲田大学・国際会議場4階第1共同研究室(いつもと違います)
  - 3) テーマ： 『ピブリオ・バトル(Biblio Battle)』方式による読活〈第1回〉  
参加者は各自紹介したい本を1冊持参し、発表と質疑応答を行なう
  - 4) 参加者： 300円  
※ お問い合わせは、島村(ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)までお願い致します。
- (2) 第18回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ
  - 1) 日 時： 2020年1月29日(水) 18:00~20:00
  - 2) 場 所： 内幸町 日本プレスセンター内 日本記者クラブ9階ラウンジ
  - 3) テーマ： ①人生100年時代の暮らしのライフプロデュース「私が考える『自立』について」  
②「今年のテーマを漢字(7文字迄)、あるいは川柳などで表現、発表下さい」  
[例] 丁寧に紡ぐ 更なる好奇心を
  - 4) 参加費： 500円  
※ 20時以降は、有志で新年会を開催。問い合わせは中村([nakamura@jaas.jp](mailto:nakamura@jaas.jp))までお願い

い致します。

### (3) 第4回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ(再掲)

- 1) 日 時：2020年1月31日(金) 18:30~20:00
- 2) 場 所：すみまめカフェ(東京都墨田区京島3丁目39-8 03-6657-5532)
- 3) 発表者：鈴木眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会) すみまめカフェ店長
- 4) テーマ：徘徊できる商店街を考える

鶴の恩返し、かぐや姫、シンデレラなどを互いにシェアし合います。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme\_masumi@yahoo.co.jp)までお願い致します。

### (4) 第5回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2020年2月22日(土) 18:30~20:00
- 2) 場 所：きゅりあん(品川区総合区民館F4研修室)
- 3) 発表者：鈴木眞澄及び会員
- 4) テーマ：「人形劇 おもしろおかしくミライを学ぼう

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme\_masumi@yahoo.co.jp)までお願い致します。

### (5) 第62回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ(再掲)

- 1) 日 時：2020年2月27日(木) 18:00~20:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：大澤真理(東京大学教授)
- 4) テーマ：「防災/減災と男女共同参画—『2017年度女性・地域住民からみた防災・災害リスク削減策に関する調査』を踏まえて—」
- 5) 参加費：当分の間、頂戴しません

※ お問い合わせは、福原(fukuhara@jaas.jp)までお願い致します。

## 5. 各研究会の概要報告

### (1) 第61回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2019年12月18日(水) 18:30~20:30
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：野坂真、川副早央里、浅野幸子、浦野正樹(科研Aプロジェクト津波現地調査グループ、指標WG担当者)
- 4) テーマ：「東日本大震災の津波被災地域における復興課題」

津波被災地WG研究報告の一環として、とくに東日本大震災の津波被災地を中心とした現況の復興状況と、災害・復興過程の評価指標に関連する地域データの整理手法に関する討議。

今回の研究会は、科研Aプロジェクト「東日本大震災10年の軌跡と地域的最適解の探求」において、津波被災地WGで現在行っている作業を、他地域を担当するメンバーへのモデル作業として提案することを狙いとした。浦野氏は、災害現象と人間の営みの関係に焦点化する社会科学的な視点から災害復旧・復興の最適解を探ろうとする場合、これまで行われてきた現地調査地域の比較研究が必要となるとし、大きく二つの論点を考慮するとした。一つは、災害因によって時間的スパンの異なる災害過程のステージの分け方であり、もう一つは、環境条件の違いによる地域カテゴリーの区分をしたうえで比較する地域の分析単位をどこに置くかである。この枠組みの下で、川副氏の進めている作業は、各ステージに応じた各自治体レベルでの復興を捉えるために国や自治体が整理しているマクロデータを、その背景的意図の分析を含め、より客観的に比較可能なデータに加工するための再整理であることが紹介される。また、浅野氏は、ジェンダー論の視点が災害復興過程の分析に不可欠との前提に立ち、災害前を含む各災害ステージにおける少子高齢化、若年女性人口、子育て世代の定着度、男女の雇用ニーズ、進学率などにわたる指標の整理を行っていることが報告された。

野坂氏の報告の狙いは、他の複数地域で行われている被災地域の状況を比較しうる共通の分析フレームを他の研究者とともに創出するための試案を提示することである。大槌町の事例をもとに他地域との比較を可能にする指標整理を行い、大槌町地域について、災害前の安定した地域社会の段階、被害発生段階、緊急避難段階、仮の生活段階、前期復旧復興段階、後期復旧復興段階に分け、それぞれの段階で、個人、家族、コミュニティ、地域自治体、広域社会レベルで何が課題となり、誰がどのように対応してきたかを分析するための指標を整理した。そこで使用されたのは、公開統計データ、公開ドキュメント、調査ドキュメント、研究グループ独自の調査などのデータであり、人口構造、産業構造、被害状況、復興方針とその担い手、復興ビジョンの変遷、外的支援の入り方と受け入れ方、具体的に行われた対応とその結果などを、災害前、緊急避難時、復旧復興前期・後期などの災害過程ステージに分けて説明された。

討論では、自分の担当する地域で、各指標についてこれほど詳しいデータを用意することはかなり困難、あるいは他の地域や他国との比較を考慮に入れると背景にある思想や文化を指標に入れる必要があるのではないか、などの意見があった。また報告者から、今回の事例研究で提示した指標を参照点とし、今後他地域で何が重要な指標となるのかを提示してほしいという要望が出されるとともに、他地域の報告を重ねながら収斂させていく必要があることが確認された。

(長田攻一)

## 6. 後援イベント「あなたはどうか生きる めざせ生涯現役」のお知らせ(再掲)

- (1) 日 時： 2020年2月15日(土) 13:30~16:30
- (2) 会 場： 横浜市社会福祉センター
- (3) テーマ： あなたはどうか生きる めざせ生涯現役
- (4) 主 催： NPO法人Nippon Active Life Club (略称 ナルク)
- (5) 後 援： 一般社団法人シニア社会学会・横浜市健康福祉局

※ 本学会から、袖井孝子会長が基調講演を行い、澤岡詩野理事も講演を行います。添付のチラシを参照の上、奮ってご参加ください。

一般社団法人シニア社会学会・事務局(水、および月または金オープン)  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202  
電話&FAX:(03) 5778-4728  
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>